

# ときめき人

Tokimeki bito



## 地域に開かれた 学習サポート団体を 立ち上げ

中田町・蓬田

### 熊谷 秀さん

くまがい しゅう  
1978年生まれ 血液型/A型

#### Profile

佐沼高を経て大学を卒業したのち、人材派遣会社で10年間勤務。その後、家庭教師や塾講師の管理者として教育関係の仕事に携わる。2020年に「佐沼塾」を開塾して独立。趣味は漫画とクレーンゲーム。



ございんHP

2021年7月に開設されたNPO法人「ございん」は、不登校生への学習サポートや小学生の放課後学習サポート、プログラミング教室を通して、子どもたちを支援する団体。「家庭の収入に関係なく、子どもをサポートする場を作りたい」と、代表の熊谷さんは立ち上げへの思いを口にした。

活動を通して熊谷さんが理想とするのは「将来、子どもたちが社会で自立できるようになること」。塾業界で働く前に勤めていた会社では、派遣社員の管理を担当した。当時担当した派遣社員の中には、借りたお金は返さない、約束通り出勤しない、といった社会人として当たり前と思えることができない人たちがおり、日々の対応に苦慮した。「社会へ出る前に、人との関わり方を教えるのも教育

の大切な役割。不登校になることでそういった場が失われてしまうことが心配だった」と学校に行けない子どもたちへの思いを話す。近年、子どもたちが不登校になる理由は多種多様だ。いじめに限らず、集団行動が苦手、なんとなく行きたくないといった理由から学校へ行かなくなる子どもも多々いる。熊谷さんは「勉強を教わるだけでなく人との関わりを持つことで、そういった面での助けにもなればうれしい」と笑みを浮かべた。

法人名に選んだ「ございん」は「どうぞおいでください」の意味を持つ方言。さまざまな悩みを抱える子どもを受け入れる場だからこそ、あえて柔らかい表現を選んだ。熊谷さんは、子どもたちそれぞれの思いに向き合い、一人一人に寄り添い続ける。

## 編集後記

▼いち早く早く現場に駆け付け私たちの安全を守る消防団。地域を守る消防団は、団員だけではなく協力事業所の力添えにより活動しています。従業員が現場に向かうのを見送り、資器材の不足があれば提供。団員皆さんと協力事業者へ感謝し、火災予防に取り組みたいと思います。(佐々木)

▼二年ぶりに開催された成人式では、コロナ禍になってからは撮ることが少なくなっていた多くの笑顔をカメラに収めることができました。成年の年齢は引き下げられますが、市の成人式は、来年以降も20歳を対象に開催されます。今後も変わらぬ笑顔あふれる式を楽しみにしています。(三浦)

▼情報広場に掲載する予定のイベントや取材依頼を受けた事業が、中止になることが増えています。例年あった行事や予定していた表彰式などが開けず、関係者や入賞者などの思いや背景を知ります。常識打破から価値発見力が形成されている様子です。(高橋)



#### 登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



#### 登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

